

8 主な項目の全国における本県の状況

福島県の空き家率は全国で低い方から7番目

全国の住宅総数 60,628,600 戸に対し、空き家は 8,195,600 戸であり、全国平均の空き家率は 13.52%となっている。

福島県の空き家率は 11.73%となっており、全国では低い方から7番目（平成20年調査では13番目）となっている。

都道府県の中で最も空き家率が低いのは宮城県で 9.37%、一方、最も空き家率が高いのは山梨県で 22.01%となっている。

福島県の一戸建住宅割合は全国で22番目

住宅の建て方別の割合をみると、全国平均では一戸建が 54.89%と過半数を占めており、次いで共同住宅が 42.39%、長屋建が 2.47%となっている。

福島県においては、一戸建が 70.47%、共同住宅が 26.22%、長屋建が 3.00%となっており、全国平均より一戸建の割合が 15.58 ポイント高くなっている。一戸建の割合は全国で 22 番目である。

最も一戸建の割合が高い都道府県は秋田県 80.98%であり、最も低いのは東京都 27.77%となっている。

また、共同住宅の割合が最も高いのは東京都で 69.98%、長屋建の割合が最も高いのは岩手県で 4.61%となっている。

福島県の持ち家住宅率は全国で28番目

全国の居住世帯がある住宅総数 52,102,200 戸に対し、持ち家は 32,165,800 戸であり、全国平均の持ち家住宅率は 61.74%となっている。

福島県の持ち家率は 66.52%となっており、全国平均より 4.78 ポイント高くなっている。全国の順位は 28 番目である。

都道府県の中で最も持ち家率が高いのは富山県で 79.41%となっている。また、最も低いのは東京都で 45.76%となっている。

福島県の持ち家の1住宅当たりの延べ面積は全国で14番目

持ち家における1住宅当たりの延べ面積は、全国平均で120.93㎡となっている。
福島県においては145.04㎡であり、全国で14番目に広く、全国平均を24.11㎡上回っている。
都道府県の中で最も1住宅当たりの延べ面積が広いのは富山県で175.26㎡であり、最も狭いのは東京都で、89.52㎡となっている。

福島県の高齢者等のための設備を設置している住宅の割合は全国で24番目

高齢者等のための設備の設置状況についてみると、全国では高齢者等のための設備のある住宅が26,544,300戸あり、居住世帯がある住宅総数に占める割合は50.95%となっている。
福島県においては52.07%となっており、全国平均を1.12ポイント上回っている。
都道府県の中で高齢者等のための設備の設置割合が最も高いのは長野県で59.26%であり、最も低いのは沖縄県で31.55%となっている。